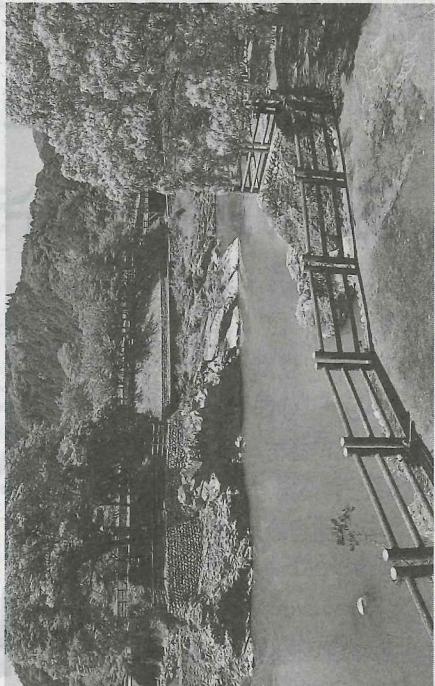


## 多紀連山で見つかる

多紀連山を形成する主要3峰の一つ「西ヶ原」(標高727m)の中でも、「イヌザクラ」の巨木が見つかった。幹周りが胸の高さの位置で4・35m、樹高は約20m。「ひちうり」の巨木・巨木100選の著者、橋本光政さん(62)=姫路市=は、「イヌザクラは、県内でも珍しく、金額的にも巨木数の少ない木。これまで県内一の大木としてこれまで神崎郡のイヌザクラ(幹周り2・78m)をはるかに上回っている。(太治三)



「野外博物館」をして活用をはかって丹波地域資源の活用をはかる川代渓谷=丹波市山南町上滝で実現のめどは立っていないが、さあさまな木を盛り込んでいる。條山層群エリアを丹波地域の活性化につなげるための構造。「農村風景」とめたアイデア集、が昨年度1年間かけて作成した。検討委員会と名づけた交流会で、会食しながら交換を深めており、年間で平均50件の成約がある。



## 丹波の魅力ツアリに

### 春日町の新規事業で定住促進

春日町の新規事業で定住促進。春日町は、丹波の自然環境や歴史文化を活用して、地域活性化を目指す取り組みの一環として、春日町の「春日町の森」を「学術研究施設」として開設する。この施設では、森林浴や自然観察、学習プログラムなどを通じて、地域の資源を活用していく。また、春日町は、丹波の伝統文化や手芸作家による展示会やワークショップを開催するなど、地域の文化活性化に取り組んでいます。

春日町の森は、丹波の自然環境や歴史文化を活用して、地域活性化を目指す取り組みの一環として、春日町の「春日町の森」を「学術研究施設」として開設する。

ここ数年、丹波市の中学3年生の修学旅行先の沖縄本島

伊江島国際通りでの買い物と乗じて思出ができたと思ふ。大戦の傷跡があり、米軍基地問題に接れる「色々な顔を持つ」と実感できたのは自分は、モスクを探り、平和学習の研究者で辺野古新基地建設に反対する人々が座り込みを続けるキャンプシュラフ市場の中にある友人の店で民泊をして、沖縄県職員や現地勤務の記者と飲み交わした。今年、お世辞抜きに素晴らしい。たゞ、学校がある中で、丹波市の生徒の平和セレモニーに臨む姿勢は毎年、お世辞抜きに素晴らしい。今年の春日町の森も、同町下三井庄の「太路」などの森で秘密基地を作ったり、弓矢作りを体験するなど自然遊びを満喫した。

春日町の森は、丹波の自然環境や歴史文化を活用して、地域活性化を目指す取り組みの一環として、春日町の「春日町の森」を「学術研究施設」として開設する。

